



半導体国際会議 GAMS/JSTC開催報告

2016年10月17日(月)～10月21日(金):ドイツ・ベルリン

半導体分野では、通商、知的財産、環境などの国際的課題を業界で対応する枠組みがあり、毎年3回の国際会議を開催しています。2月にJSTC^{*1}会合、5月にWSC^{*2}会合とJSTC会合、10月にGAMS^{*3}会合とJSTC会合が開催され、日本、米国、欧州、韓国、チャイニーズ台北、中国の代表が集まり、議論します。JSTC会合とWSC会合は民間の集まりで、業界共通の課題について議論をし、政府への要望をまとめます。GAMS会合は政府の集まりで、業界の要望を検討して、結果を業界にフィードバックします。それに対し、必要であれば業界がさらに議論を深めていきます。このような仕組みの元、民間と政府とが協力して課題解決を図っています。本活動報告では、昨年10月にドイツ・ベルリンで開催された第17回GAMS会合と第56回JSTC会合における活動内容を紹介します。

今回のトピックスとして官民合同で行われた地域支援プログラムワークショップについて紹介します。

Kempinski Hotel Bristol, Berlin



地域支援プログラムワークショップの開催

10月18日に各地域の政府、産業界そして地域支援の専門家を集めて、補助金などの支援プログラムに関して、ワークショップが初めて開催されました。

最近中国政府による半導体支援政策が話題となっていますが、国際的に情報交換を行い、あるべき姿について認識を深めようという試みです。

前半は、産業界の専門家によるプレゼンテーションがありました。市場志向型のベストプラクティス、経済的評価、WTO^{*4}原則について、専門家がプレゼンテーションを行いました。後半は、GAMSのラウンドテーブル

と題し、各地域の支援プログラムについて説明した後、討議を行いました。支援プログラムについては透明性があり、差別のない、WTO原則に従ったものであるべきであると強調されました。

更に相互理解を深めるため、今年10月のGAMS会合で、2回目の地域支援プログラムワークショップを開催することにしました。

第17回GAMS会合

10月20日のGAMS会合では、ワークショップの議論を反映して地域支援プログラムに関して更に議論を深めました。加えて、半導体ベースの変換器の関税分類、貿易円滑化などの通商課題、営業秘密、NPE^{*5}/PAE^{*6}などによる特許訴訟の濫用、特許の質の向上などの知的財産課題、化学物質に関する規制などの環境課題、さらに、模倣品対策、環境物品、紛争鉱物などについて議論されました。

第56回JSTC会合

JSTC会合では、課題ごとに担当する委員会やタスクフォースが専門的な議論を行った結果を受けて、WSCやGAMSへの報告や提言について議論しました。例えば、今回知的所有権委員会の議長は日本でしたが、特許の質に関してWIPO^{*7}との電話会議を行い、今後の協力について話し合ったことや営業秘密その他を報告しました。その他、以下のような課題について、議論しました。

- ・通商課題：地域支援プログラム、貿易円滑化、関税分類の調和など
- ・知的財産課題：FFL^{*8}要件、営業秘密、特許訴訟の濫用、模倣品対策
- ・環境課題：PFC^{*9}、資源保全、化学物質管理
- ・その他：マーケット、成長イニシアティブ、WSC2.0

今後のWSCの共同声明やGAMSへの提言につなげる活動となります。

*1 JSTC(Joint Steering Committee): 各工業会の会員企業の委員による実務レベル会合。 *2 WSC(World Semiconductor Council): 半導体企業のトップによる会合。

*3 GAMS(Government/Authorities Meeting on Semiconductors): 半導体を担当する政府当局による会合。 *4 WTO(World Trade Organization): 世界貿易機関。

*5 NPE(Non-Practicing Entity): 特許不実施主体。 *6 PAE(Patent Assertion Entity): 特許主張主体。 *7 WIPO(World Intellectual Property Organization): 世界知的所有権機関。

*8 FFL(Foreign Filing License): 外国出願許可。 *9 PFC(Perfluoro Compound): 代替フロン的一种。地球温暖化ガス。



第89回機器・部品メーカー懇談会

支部部品運営委員会では11月25日(金)に大阪・太閤園にて標記の懇談会を開催しました。機器4社、部品1社より各分野における最新の動向についてご講演いただきました。その後活発な質疑応答もあり、有意義な情報交流となりました。

村田委員長ご挨拶

開会にあたり、村田恒夫 委員長((株)村田製作所 社長)より挨拶がありました。「アメリカ大統領選挙はトランプ氏の勝利という結果になりましたが、背景には米国民の“Change”を求める気持ちがあると思います。本日のテーマも、IoT、カーエレ、空調、ロボットと並び、以前の懇談会テーマからは大きく様変わりしました。我々も生き残るために“Change”を求められています。どう変わって行くべきか、活発な議論をお願い致します。」



村田委員長挨拶

家電分野におけるIoTの取り組みについて

シャープ(株)よりご講演いただきました。家電のIoTは、「リモート制御・モニタリング」から「サービス連携」へと進化を遂げましたが、お客様が喜ぶ価値を提供できている、とは言えません。モノの人口知能化「AI×IoT=AIoT」により、家電をさらに人に寄り添う存在に変えて行きたいと考えています。ユーザーの習慣や好みを学

習し、クラウドの人工知能・情報を用いて一人ひとりに合う価値を創出、音声による対話でその価値を伝えることで、お客様に愛着を持っていただければと願っています。RoBoHoN、AQUOS、HELSIO等、「暮らしのパートナー」としてお使いいただける商品を展開している所です。今後は、他社製品を含め、HEMSから住宅設備まで家中のモノが連携し「わが家」流に成長して行く「スマートホーム」の実現に向け、サービスを含めてアライアンスを進めて行きます。将来的には、コンシューマー向けで培ったクラウド関連技術をB2Bにも展開して行きたいと考えています。

カーエレクトロニクスの動向と今後の展開 ～安全運転支援への取り組みについて～

パナソニック(株)よりご講演いただきました。2015年に世界の交通事故死者は125万人、負傷者は2000～5000万と言われていています。日本では、特に高齢者の比率が高まっており、死者の54.6%を65才以上の方が占めました。欧米日で新車評価制度(NCAP: New Car Assessment Program)が導入され、安全の確保に向けた各種法規制の整備も進んでいます。20年のADAS(Advanced Driving Assistant System: 先進運転支援システム)用キーデバイス市場は1兆4千億円規模と予測されますが、この額は12年時点の予測に比べ約4倍も上振れています。同社では、素材、コンポーネントからシステムまで、幅広い知見を結集し、カメラとソナーを組み合わせて対象との距離を高分解能で計測するTOF(Time-of-Flight)カメラ、左右と後方の3つのカメラ映像の統合表示するディスプレイ、V2X(車-車/インフラ/歩行者)通信を活用したインターフェース等の開発を進めています。